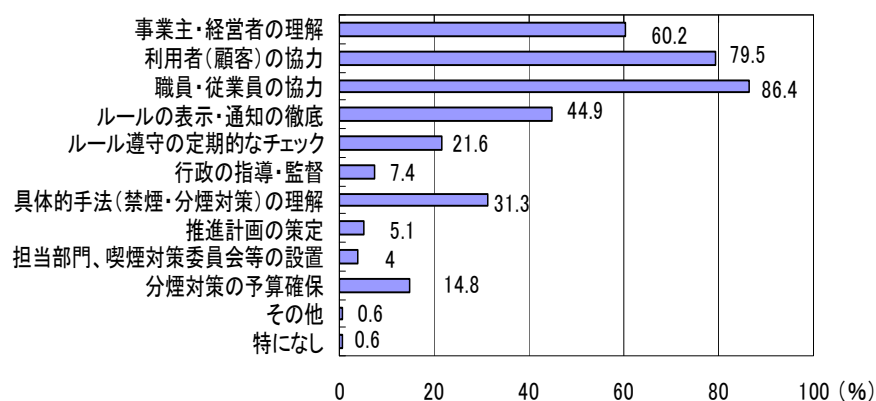


3 社会福祉施設の概要

(1) 禁煙・分煙対策の推進に必要な事項 ※問2

施設が禁煙・分煙対策を進める上で必要であると考えられるものを尋ねたところ(有効回答数: 627)、「職員・従業員の協力」が152件 86.4%と最も多く、次に「利用者(顧客)の協力」が140件 79.5%、「事業主・経営者の理解」106件 60.2%、「ルールの表示・通知の徹底」が79件 44.9%の順となっている。

図3-1 禁煙・分煙対策の推進に必要な事項 (複数回答)



(2) 喫煙問題に関する取組意識 ※問3

施設として取り組んでいる喫煙問題に関する意識を「禁煙・分煙対策の取組を重視しているか」、「禁煙・分煙対策の取組は利用者サービス向上に不可欠であるか」、「禁煙・分煙対策の取組は社会的責任であるか」、「公共の場所等(多数の方々を利用する施設等)では禁煙・分煙対策を講じるべき」の4つの項目について尋ねた。

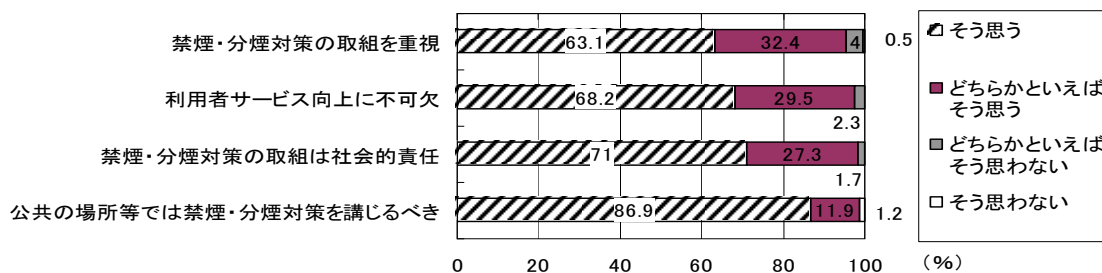
「禁煙・分煙対策の取組を重視」では「そう思う」が111件 63.1%、「どちらかといえばそう思う」が57件 32.4%、両方で168件 95.5%となっている反面、「どちらかといえばそう思わない」7件 4.0%と「そう思わない」1件 0.5%の計8件 4.5%となっている。

「利用者サービス向上に不可欠」では「そう思う」が120件 68.2%、「どちらかといえばそう思う」が52件 29.5%、両方で172件 97.7%となっている反面、「どちらかといえばそう思わない」が4件 2.3%となっている。

「禁煙・分煙対策の取組は社会的責任」では「そう思う」が125件 71.0%、「どちらかといえばそう思う」が48件 27.3%、両方で173件 98.3%となっている反面、「どちらかといえばそう思わない」が3件 1.7%となっている。

「禁煙・分煙対策を講じるべき」では「そう思う」が153件 86.9%、「どちらかといえばそう思う」が21件 11.9%、両方で174件 98.8%となっている反面、「そう思わない」が2件 1.2%となっている。

図3-2 喫煙問題に関する取組意識

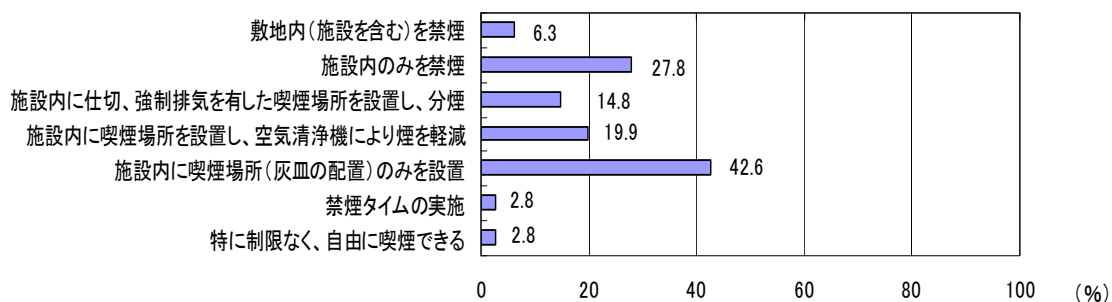


(3) 主な禁煙・分煙対策の実施状況 ※問4

現在、施設が取り組んでいる主な禁煙・分煙対策について尋ねたところ(有効回答数:206)、「施設内のみ禁煙としている」が49件 27.8%、「施設内に仕切、強制排気を有した喫煙場所を設置し分煙している」26件 14.8%、「敷地内(施設を含む)を禁煙としている」11件 6.3%の計86件となっており、有効回答数の約4割が受動喫煙防止対策を実施している。

なお、「喫煙場所(灰皿の配置)のみを設置している」が75件 42.6%と最も多くなっている。

図3-3 主な禁煙・分煙対策の実施状況 (複数回答)

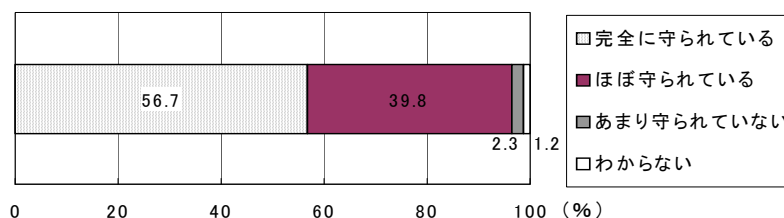


(4) 禁煙・分煙の遵守状況 ※問5-(1)~(4)

喫煙制限を実施している171施設に対して、次の4項目について尋ねた。

- ① 喫煙制限は遵守されているか尋ねたところ、「完全に守られている」97件 56.7%と「ほぼ守られている」68件 39.8%の両方で165件 96.5%、残りが「あまり守られていない」と「守られていない」の計6件 3.5%となっている。

図3-4-1 禁煙・分煙の遵守状況



- ② 禁煙・喫煙場所の明示について尋ねたところ、「明示している」が62件 36.3%、「明示していない」が109件 63.7%となっており、明示方法(有効回答数:64)については「喫煙場所を明示」が44件 71.0%、「禁煙場所を明示」が13件 21.0%、「両方を明示」が7件 11.3%となっている。

図3-4-2-1 禁煙場所・喫煙場所等の
明示の有無

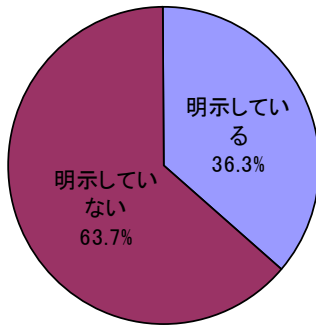
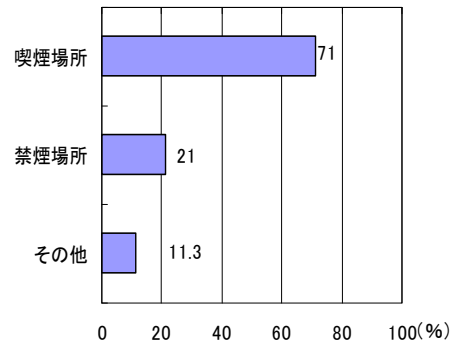
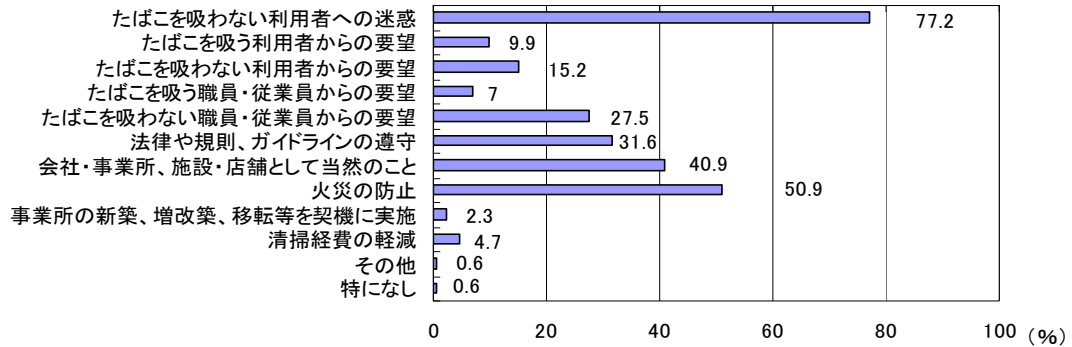


図3-4-2-2 明示方法
(複数回答)



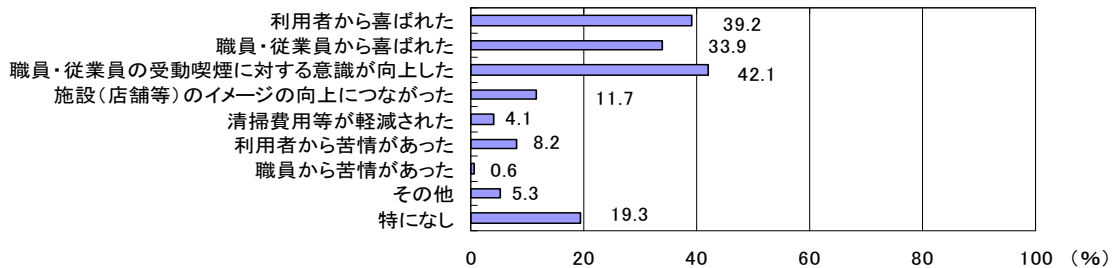
③ 禁煙・分煙対策を実施している施設に理由を尋ねたところ(有効回答数:459)、「たばこを吸わない利用者への迷惑」が132件 77.2%と最も多く、次に「火災の防止」87件 50.9%、「施設(企業)として当然のこと」70件 40.9%の順となっている。

図3-4-3 禁煙・分煙実施の理由 (複数回答)



④ 禁煙・分煙を実施した結果としての評価(メリット・デメリット)を尋ねたところ(有効回答数:281)、「職員・従業員の受動喫煙に対する意識が向上した」72件 42.1%と最も多く、次に、「利用者(顧客)から喜ばれた」が67件 39.2%、「職員・従業員から喜ばれた」58件 33.9%の順となっている。

図3-4-4 禁煙・分煙実施の効果 (複数回答)

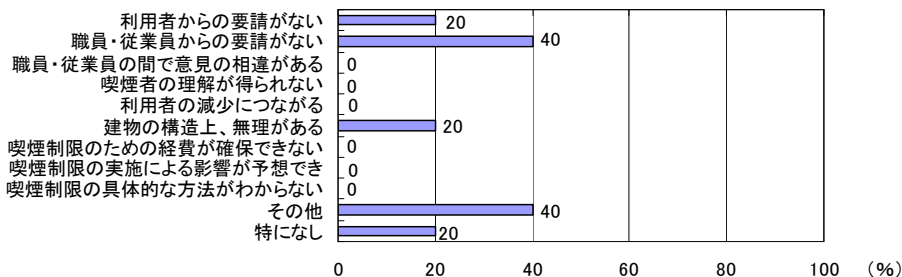


(5) 禁煙・分煙未実施の理由 ※問6-(1)~(3)

喫煙制限を実施していない5施設に対して、次の3項目について尋ねた。))

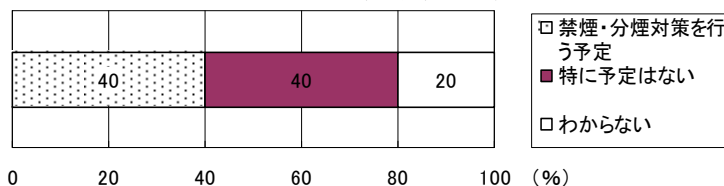
① 喫煙制限を実施していない理由を尋ねたところ(有効回答数:7)、「職員からの要請がない」が2件 40.0%、「利用者からの要請がない」と「建物構造上の無理がある」及び「特になし」の各1件の順となっている。

図3-5-1 禁煙・分煙未実施の理由（複数回答）



② 今後の予定を5施設に尋ねたところ、「禁煙・分煙対策を行う予定」と「特に予定はない」が各2件 40.0%、「わからない」が1件 20.0%となっている。

図3-5-2 禁煙・分煙の予定



③ 今後の禁煙・分煙対策を実施する時期を尋ねたところ、「敷地内を禁煙にする予定」はなく、平成17年3月までに「施設内を禁煙にする」及び「施設内を分煙にする」の各1件となっている。

図3-5-3-1 施設内を禁煙とする予定

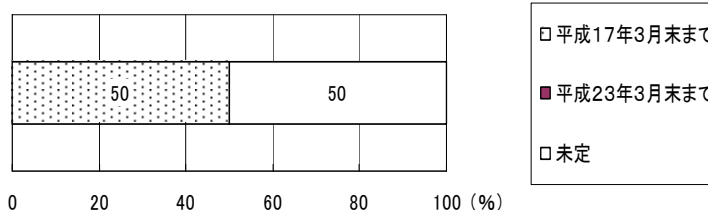
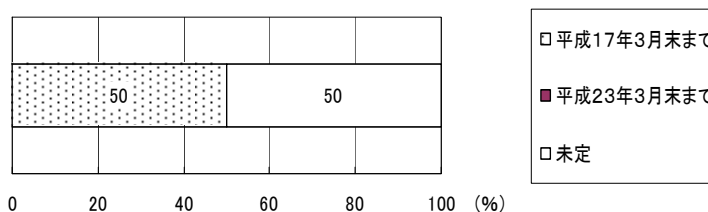


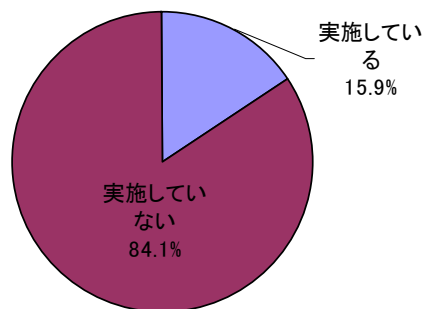
図3-5-3-2 施設内を分煙とする予定



(6) たばこの健康影響に関する情報の提供 ※問7

たばこの健康影響に関する情報を職員・従業員へ提供しているか尋ねたところ、「実施している」が28件 15.9%、「実施していない」が148件 84.1%となっている。

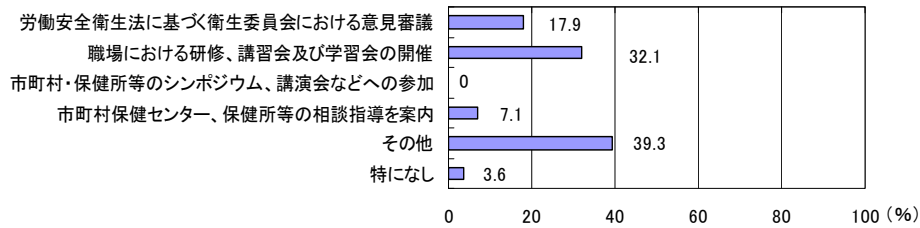
図3-6 たばこの健康影響に関する情報の提供



(7) たばこの健康影響に関する情報提供等の取組 ※問8

職員・従業員を対象に、たばこの健康影響に関する情報提供を実施している施設に尋ねたところ（有効回答数：28）、「その他の取組（ポスター掲示、関係資料の配布・回覧、喫煙による健康障害の情報提供など）」が11件 39.3%と最も多く、次に「職場研修、講習会及び学習会」が9件、32.1%「労働安全衛生法に基づく衛生委員会における意見審議」が5件 17.9%、「市町村保健センター等が実施する相談指導の案内」が2件 7.1%の順となっている。

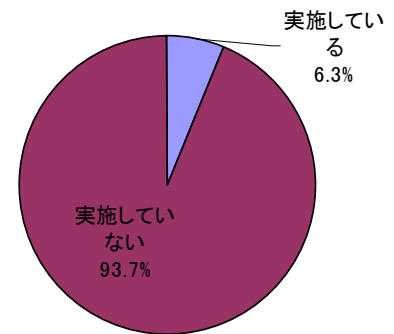
図3-7 たばこの健康影響に関する情報提供等の取組（複数回答）



(8) 禁煙希望の職員等へのサポート ※問9

禁煙希望の職員・従業員へのサポートを実施しているかと尋ねたところ、「実施している」が11件 6.3%、「実施していない」が165件 93.7%となっている。

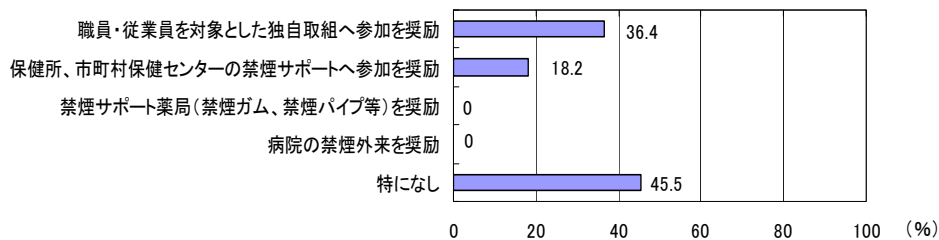
図3-8 禁煙希望の職員等へのサポート



(9) 禁煙サポートの内容 ※問10

禁煙サポートを実施している11施設に内容を尋ねたところ（有効回答数：11）、「特になし」5件 45.5%が最も多く、次に「独自の取組（施設内の禁煙教室、禁煙ガムを奨めるなど）」4件 36.4%、次いで「保健所、市町村保健センター等の禁煙サポートへの参加」2件 18.2%となっている。

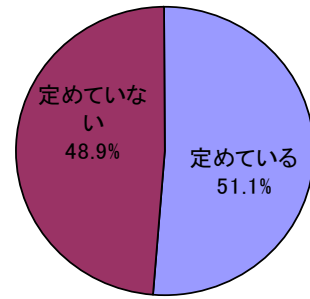
図3-9 禁煙サポートの取組について（複数回答）



(10) 喫煙マナーに関するルール ※問 11

図3-10 喫煙マナーに関するルール

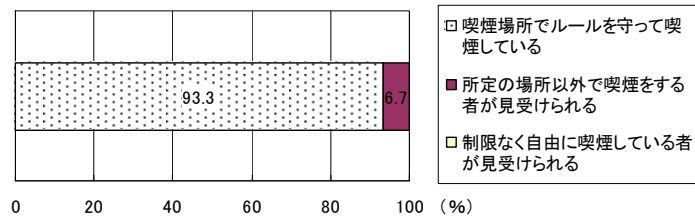
喫煙マナールールを定めているか尋ねたところ、「定めている」が90件 51.1%、「定めていない」が86件 48.9%となっている。



(11) 定めたルールの遵守状況 ※問 12

喫煙ルールを定めている90施設の遵守状況を尋ねたところ、「喫煙場所でルールを守って喫煙している」が84件 93.3%、「敷地内の禁煙を守っている」6件 6.7%となっている。

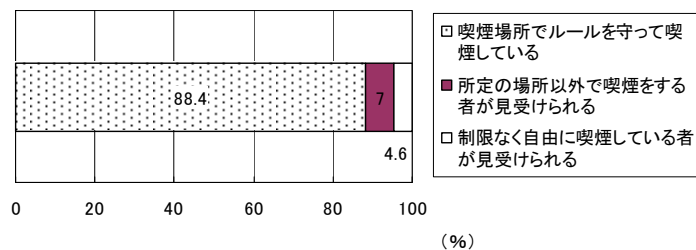
図3-11 定めたルールの遵守状況



(12) ルールを定めていない施設の喫煙状況 ※問 13

ルールを定めていない86施設について喫煙マナー等を尋ねたところ、「喫煙場所でルールを守って喫煙している」76件 88.4%となっている反面、「所定の場所以外で喫煙する者が見受けられる」が6件 7.0%と「制限なく自由に喫煙している者が見受けられる」も4件 4.6%となっている。

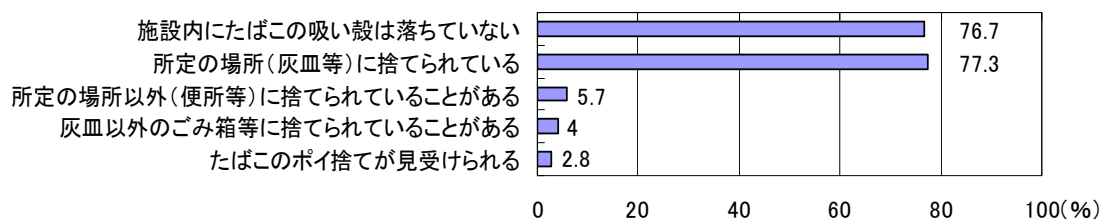
図3-12 ルールを定めていない施設の喫煙状況



(13) たばこの吸い殻の状況 ※問 14

たばこの吸い殻の状況を尋ねたところ(有効回答数:293)、「所定の場所(灰皿等)に捨てられている」が136件 77.3%と最も多く、次に「施設内にたばこの吸い殻は落ちていない」135件 76.7%となっており、これに反して「所定の場所以外の場所(便所等)に捨てられている」10件 5.7%、「灰皿以外のごみ箱等に捨てられていることがある」が7件 4.0%、「たばこのポイ捨てが見受けられる」も5件 2.8%あった。

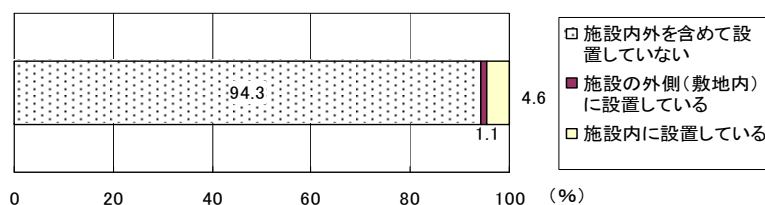
図3-13 たばこの吸い殻の状況（複数回答）



(14) たばこの自動販売機の設置状況 ※問15

たばこの自動販売機の設置状況を尋ねたところ、「施設内外を含めて設置していない」が166件 94.3%と最も多く、「施設内に設置している」8件 4.6%、「施設外側(敷地内)に設置している」が2件 1.1%の順となっている。

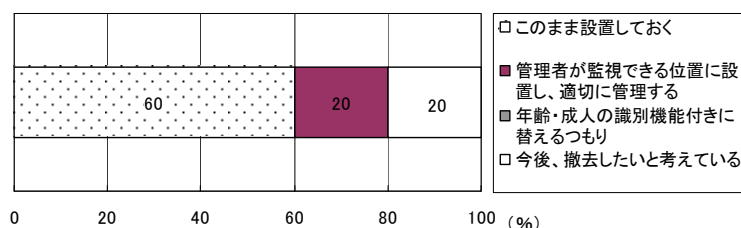
図3-14 たばこの自動販売機の設置状況



(15) たばこの自動販売機の設置管理予定 ※問16

たばこの自動販売機を設置している10施設に対し、未成年者がたばこを購入する心配があるが今後の管理をどうするか尋ねたところ、「このまま放置しておく」が6件 60.0%と最も多く、次に「施設管理者等が監視できる位置に設置し適切に管理する」と「今後、撤去したいと考えている」が各2件 40.0%になっている。

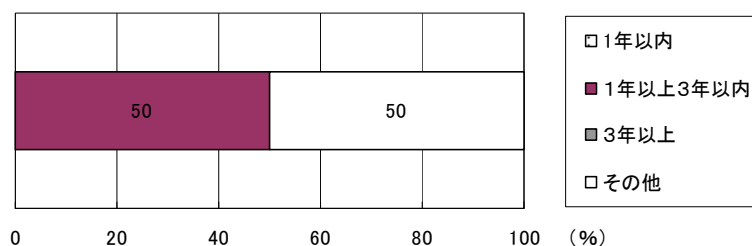
図3-15 たばこの設置管理予定



(16) たばこの自動販売機の撤去予定 ※問17

たばこの自動販売機を今後、撤去したいと考えている施設に予定を尋ねたところ、「1年以上3以内」と「検討中」が各1件となっている。

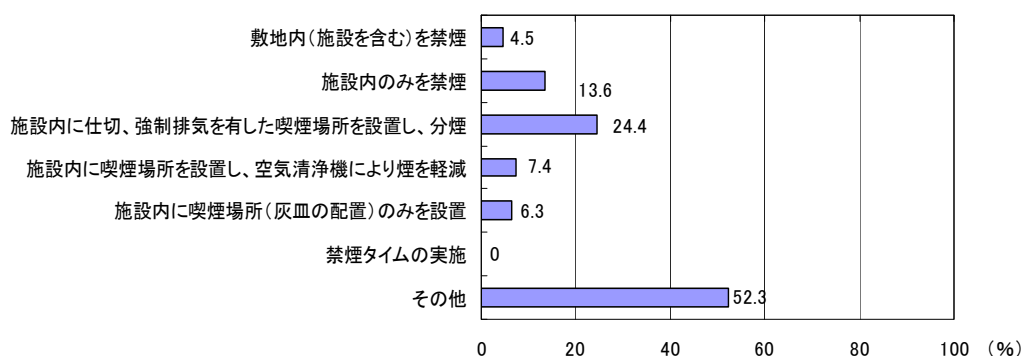
図3-16 たばこの自動販売機の撤去の予定



(17) 喫煙対策に対する施設利用者からの声 ※問18

施設利用者からの声として多い喫煙対策を尋ねたところ(有効回答数:191)、「その他(特に声は聞かない、施設外で喫煙しているので周囲の目が気になる)」が92件 52.3%と最も多く、次に「施設内を仕切、強制排気を有した喫煙場所(たばこの煙が他に完全に流出しない)を設置し、受動喫煙防止をして欲しい」が43件 24.4%、「施設内のみを禁煙として欲しい」24件 13.6%の順となっている。

図3-17 喫煙対策に対する施設利用者からの声 (複数回答)



(18) 喫煙対策に対する職員・従業員からの声 ※問19

職員・従業員からの声として多い喫煙対策を尋ねたところ(有効回答数:187)、「その他(特に声は聞かない、施設外で喫煙しているので周囲の目が気になる、施設外で喫煙させるので施設利用者の制限につながる)」が67件 38.1%と最も多く、次に「施設内を仕切、強制排気を有した喫煙場所(たばこの煙が他に完全に流出しない)を設置し、受動喫煙防止をして欲しい」が46件 26.1%、「施設内のみを禁煙として欲しい」35件 19.9%の順となっている。

図3-18 喫煙対策に対する職員・従業員からの声 (複数回答)

